

平成27年2月6日公表

平成26年度 農林水産情報交流ネットワーク事業 全国調査 地球温暖化の農林水産分野への影響及び地球温暖化適応策 に関する意識・意向調査

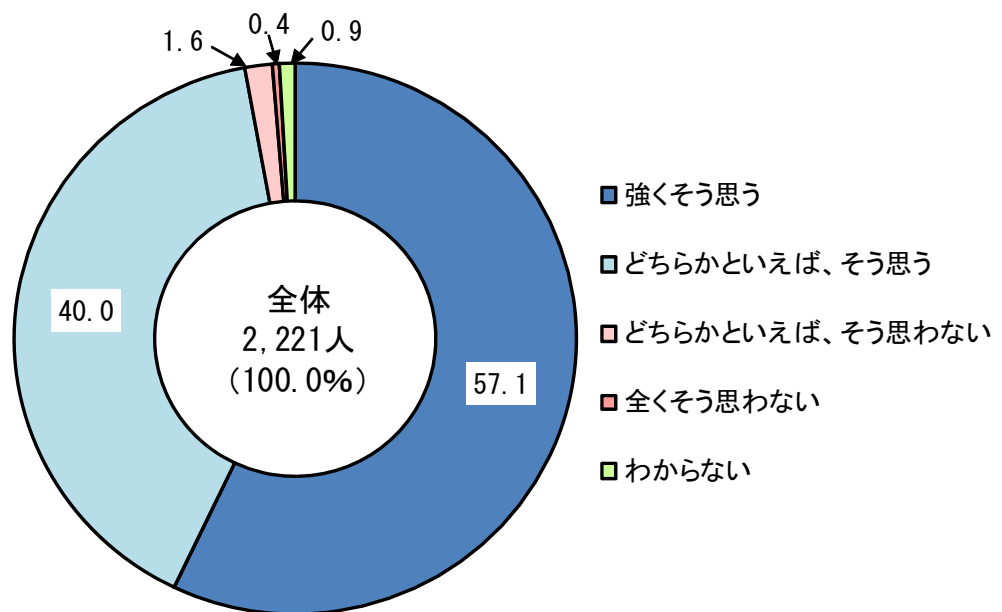
この調査は、平成26年11月上旬から中旬にかけて、農林水産情報交流ネットワーク事業の生産者モニター1,759人、流通加工業者モニター893人の計2,652人を対象に実施したものであり、生産者モニター1,530人、流通加工業者モニター691人の計2,221人から回答を得た結果である。

【調査結果の概要】

1 地球温暖化影響に関する基本的な認識について

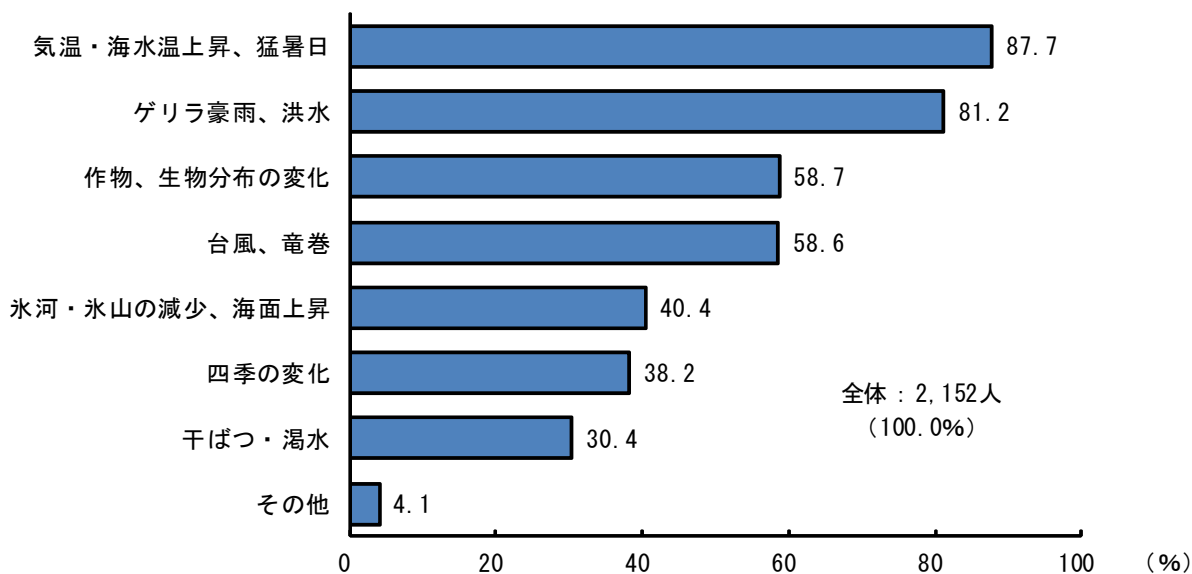
- (1) 地球温暖化による影響が既に現れていると思うかについて、「強くそう思う」と回答した割合が57.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」(40.0%)、「どちらかといえば、そう思わない」(1.6%)の順であった。

図1-1 地球温暖化による影響は既に現れていると思うか



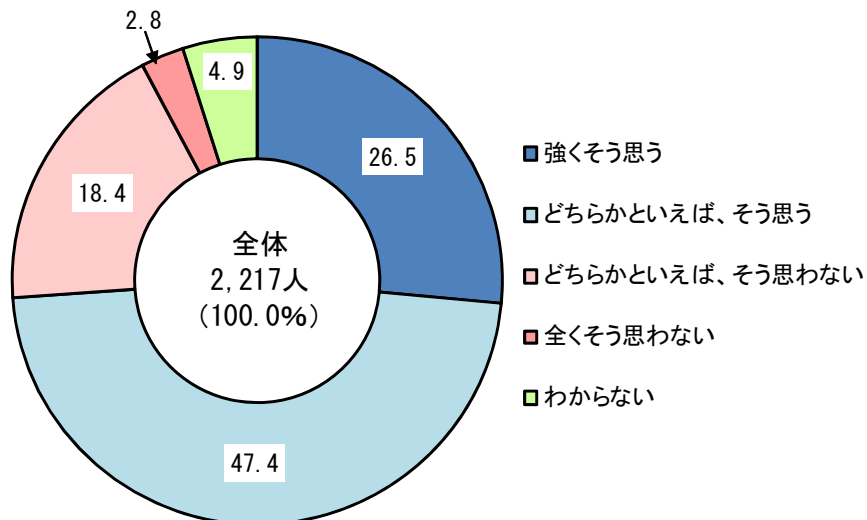
- (2) 地球温暖化の影響が現れていると思う具体的な事象について、「気温・海水温上昇、猛暑日」と回答した割合が87.7%と最も高く、次いで「ゲリラ豪雨、洪水」(81.2%)、「作物、生物分布の変化」(58.7%)、「台風、竜巻」(58.6%)の順であった。

図1-2 地球温暖化の影響が現れていると思う具体的な事象（複数回答）



- (3) おおむね最近1年間で農林水産分野に対する地球温暖化の影響に関する情報に接する機会が増えたと思うかについて、「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合が47.4%と最も高く、次いで「強くそう思う」(26.5%)、「どちらかといえば、そう思わない」(18.4%)の順であった。

図1-3 おおむね最近1年間で農林水産分野に対する地球温暖化の影響に関する情報に接する機会が増えたと思うか

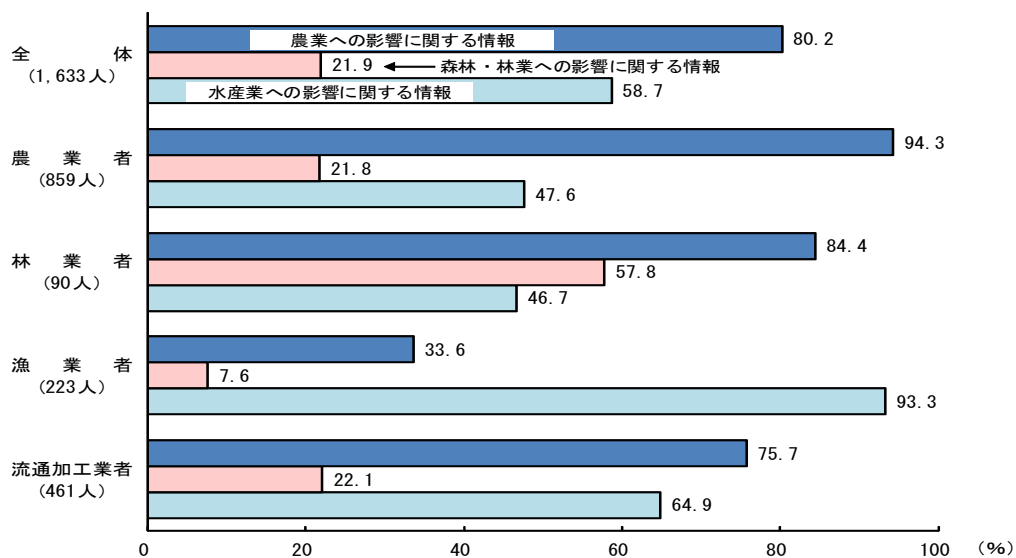


2 地球温暖化の農林水産分野への影響に関する認識について

おおむね最近1年間で農林水産分野に対する地球温暖化の影響に関する情報に接する機会が増えたと回答した者において、農林水産分野で接する機会が増えたとする情報について、「農業への影響に関する情報」と回答した割合が80.2%と最も高く、次いで「水産業への影響に関する情報」(58.7%)、「森林・林業への影響に関する情報」(21.9%)の順であった。

なお、農業者モニターが「農業への影響に関する情報」と回答した割合は94.3%、漁業者モニターが「水産業への影響に関する情報」と回答した割合は93.3%であったが、林業者が「森林・林業への影響に関する情報」と回答した割合は57.8%であった。

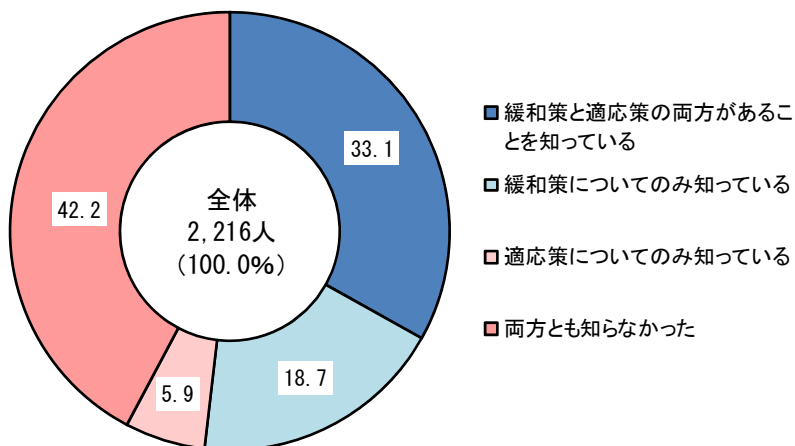
図2 農林水産分野への影響に関する情報で接する機会が増えたとする情報（複数回答）



3 地球温暖化対策に関する認識について

地球温暖化対策として「緩和策」と「適応策」があることについて、「両方とも知らなかった」と回答した割合が42.2%と最も高く、次いで「緩和策と適応策の両方があることを知っている」(33.1%)、「緩和策についてのみ知っている」(18.7%)の順であった。

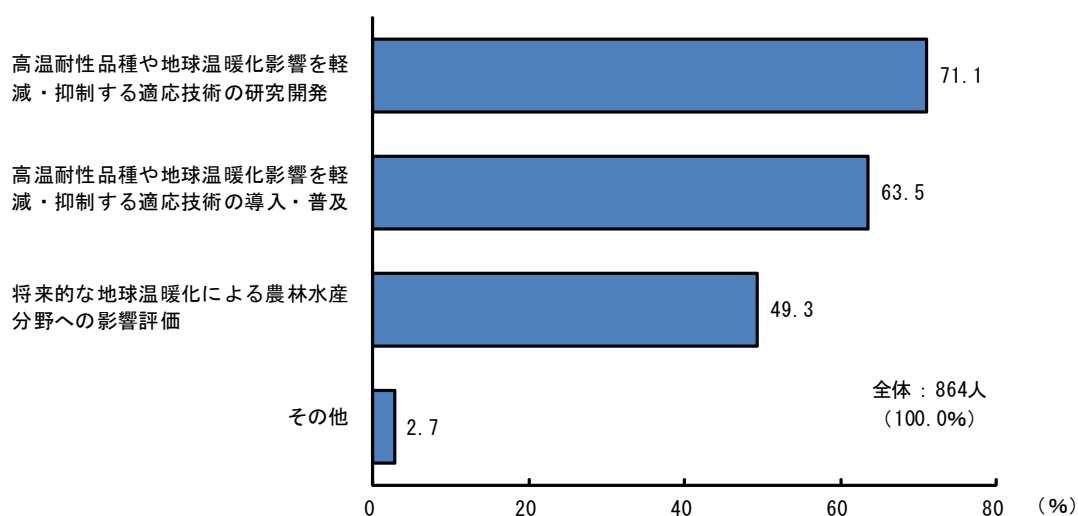
図3 「緩和策」と「適応策」の認知度



4 適応策に関する認識について

地球温暖化対策の「適応策」を知っていると回答した者において、農林水産分野における適応策で知っていることについて、「高温耐性品種や地球温暖化影響を軽減・抑制する適応技術の研究開発」と回答した割合が71.1%と最も高く、次いで「高温耐性品種や地球温暖化影響を軽減・抑制する適応技術の導入・普及」（63.5%）、「将来的な地球温暖化による農林水産分野への影響評価」（49.3%）の順であった。

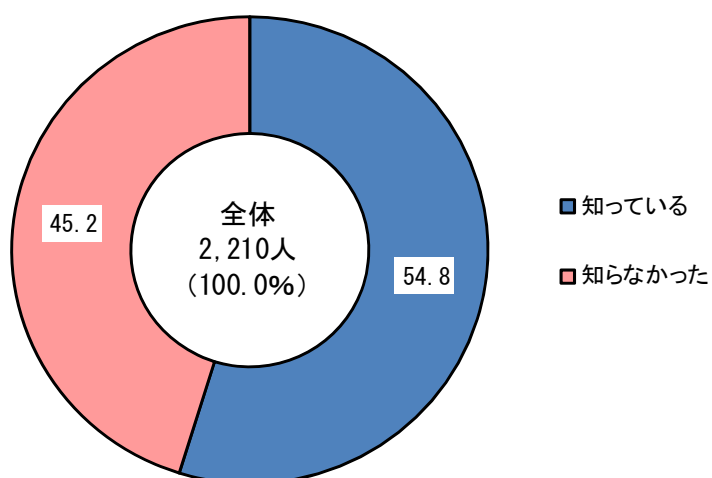
図4 農林水産分野における適応策について知っていること（複数回答）



5 地球温暖化によって生じる機会の活用について

- (1) 地球温暖化対策の「適応策」には、地球温暖化によって生じる悪影響を軽減する適応策がある一方で、地球温暖化によって生じる機会を活用する適応策があることについて、「知っている」と回答した割合が54.8%であった。

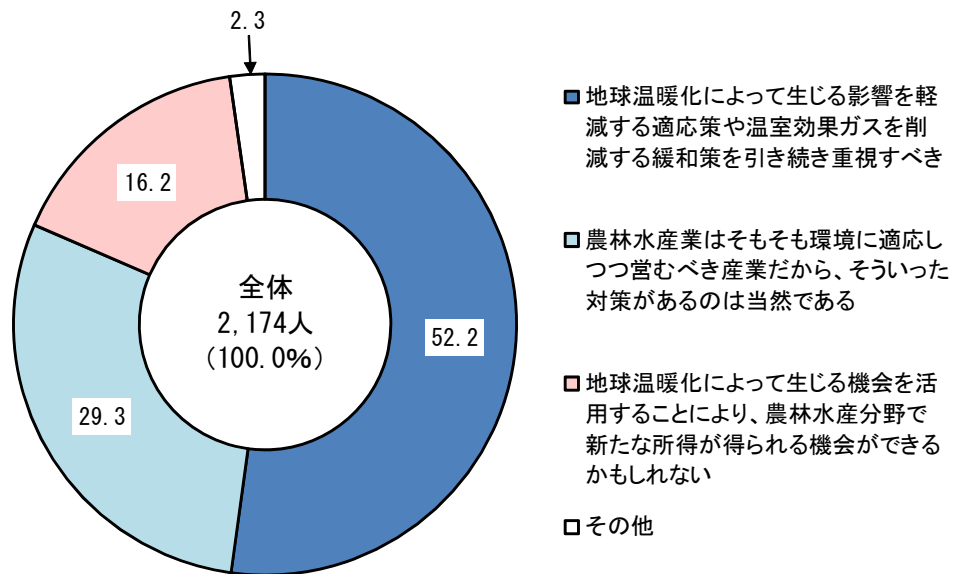
図5-1 地球温暖化によって生じる機会を活用する適応策の認知度



注：本問は、地球温暖化によって生じる機会を活用する適応策の具体例を読んだ後、回答した結果であり、図3の回答結果とは異なる（調査事項15ページ「問8」参照）。

(2) 地球温暖化によって生じる機会を活用する適応策があることによる農林水産分野における地球温暖化対策の印象について、「地球温暖化によって生じる影響を軽減する適応策や温室効果ガスを削減する緩和策を引き続き重視すべき」と回答した割合が52.2%と最も高く、次いで「農林水産業はそもそも環境に適応しつつ営むべき産業だから、そういった対策があるのは当然である」(29.3%)、「地球温暖化によって生じる機会を活用することにより、農林水産分野で新たな所得が得られる機会ができるかもしれない」(16.2%)の順であった。

図5-2 地球温暖化によって生じる機会を活用する適応策があることによる農林水産分野における地球温暖化対策の印象



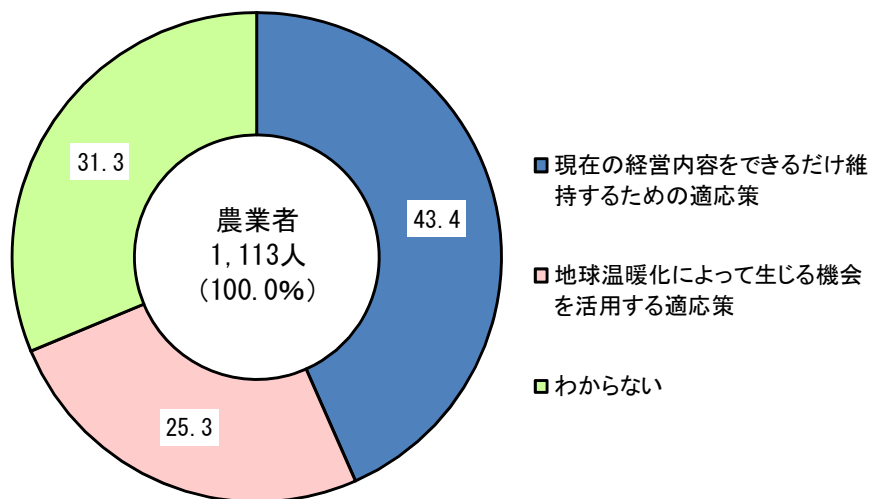
注：本問は、地球温暖化によって生じる機会を活用する適応策の具体例を前問で示して、調査対象のモニター全員（無回答者を除く。）が回答した結果である（調査事項15ページ「問8」及び「問9」参照）。

6 地球温暖化影響に対する意識について

(1) 農業を経営していくに当たって実施すべき適応策

地球温暖化の影響により、農業を経営していくに当たって適応策が必要となった場合に実施すべき適応策について、「現在の経営内容をできるだけ維持するための適応策」と回答した割合が43.4%と最も高く、次いで「わからない」(31.3%)、「地球温暖化によって生じる機会を活用する適応策」(25.3%)の順であった。

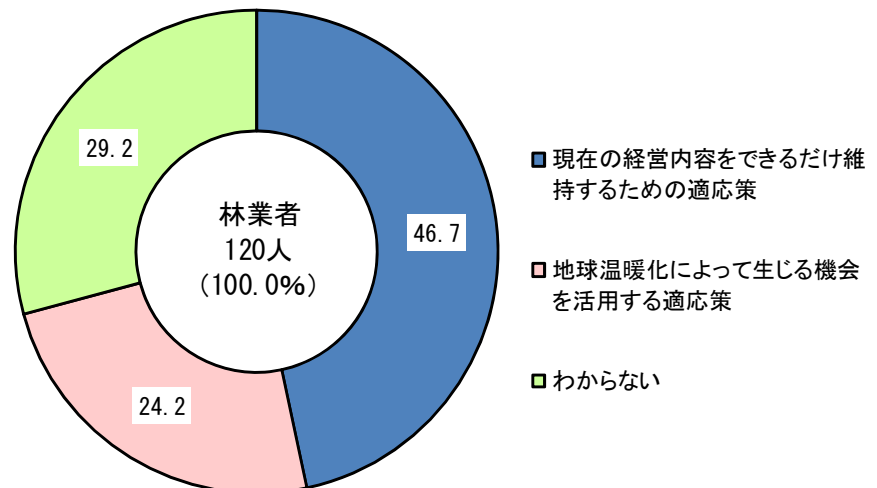
図6-1 農業を経営していくに当たって実施すべき適応策



(2) 林業を経営していくに当たって実施すべき適応策

地球温暖化の影響により、林業を経営していくに当たって適応策が必要となった場合に実施すべき適応策について、「現在の経営内容をできるだけ維持するための適応策」と回答した割合が46.7%と最も高く、次いで「わからない」(29.2%)、「地球温暖化によって生じる機会を活用する適応策」(24.2%)の順であった。

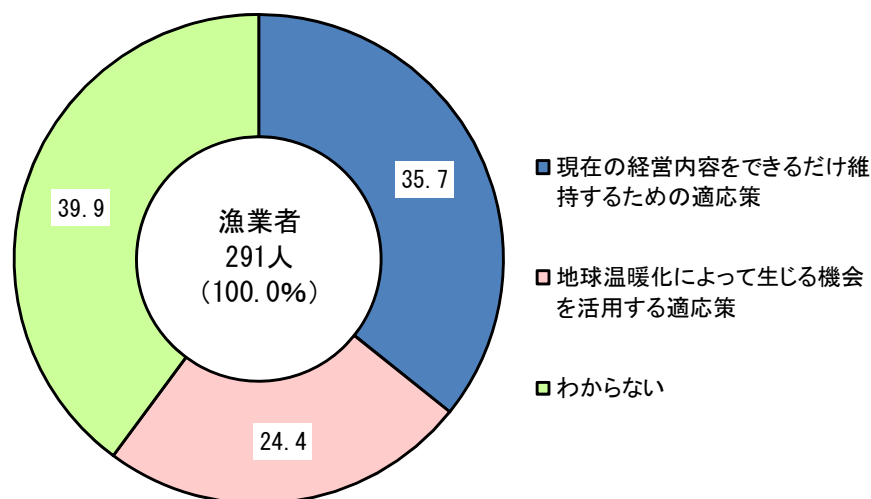
図6-2 林業を経営していくに当たって実施すべき適応策



(3) 水産業を経営していくに当たって実施すべき適応策

地球温暖化の影響により、水産業を経営していくに当たって適応策が必要となった場合に実施すべき適応策について、「わからない」と回答した割合が39.9%と最も高く、次いで「現在の経営内容をできるだけ維持するための適応策」(35.7%)、「地球温暖化によって生じる機会を活用する適応策」(24.4%)の順であった。

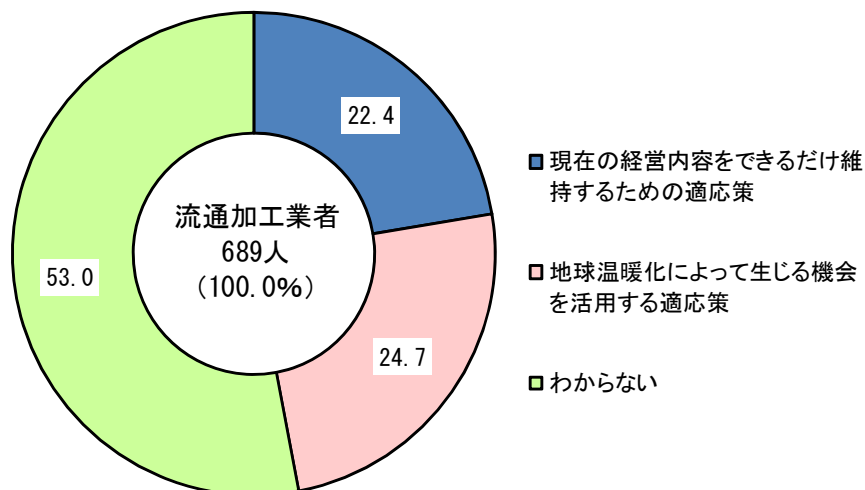
図6-3 水産業を経営していくに当たって実施すべき適応策



(4) 流通加工業を経営していくに当たって実施すべき適応策

地球温暖化により、流通加工業を経営していくに当たって適応策が必要となった場合に実施すべき適応策について、「わからない」と回答した割合が53.0%と最も高く、次いで「地球温暖化によって生じる機会を活用する適応策」(24.7%)、「現在の経営内容をできるだけ維持するための適応策」(22.4%)の順であった。

図6-4 流通加工業を経営していくに当たって実施すべき適応策



【 統 計 表 】

《 目 次 》

1	地球温暖化影響に関する基本的な認識について	
(1)	地球温暖化による影響は既に現れていると思うか	9
(2)	地球温暖化の影響が現れていると思う具体的な事象（複数回答）	9
(3)	おおむね最近1年間で農林水産分野に対する地球温暖化の影響に関する情報に接する機会が増えたと思うか	9
2	地球温暖化の農林水産分野への影響に関する認識について 農林水産分野への影響に関する情報で接する機会が増えたと思う情報（複数回答）	10
3	地球温暖化対策に関する認識について 「緩和策」と「適応策」の認知度	10
4	適応策に関する認識について 農林水産分野における適応策について知っていること（複数回答）	10
5	地球温暖化によって生じる機会の活用について	
(1)	地球温暖化によって生じる機会を活用する適応策の認知度	11
(2)	地球温暖化によって生じる機会を活用する適応策があることによる農林水産分野における地球温暖化対策の印象	11
6	地球温暖化影響に対する意識について	
(1)	農業を経営していくに当たって実施すべき適応策	12
(2)	林業を経営していくに当たって実施すべき適応策	12
(3)	水産業を経営していくに当たって実施すべき適応策	12
(4)	流通加工業を経営していくに当たって実施すべき適応策	12

1 地球温暖化影響に関する基本的な認識について

(1) 地球温暖化による影響は既に現れていると思うか

区 分	回答者数	強くそう 思う	どちらかと いえば、 そう思う	どちらかと いえば、そ う思わない	全くそう 思わない	わからない
		人	%	%	%	%
全 体	2,221	57.1	40.0	1.6	0.4	0.9
農 業 者	1,115	57.0	41.1	0.9	0.4	0.7
林 業 者	122	56.6	37.7	4.1	-	1.6
漁 業 者	293	57.0	41.0	1.0	0.3	0.7
流通加工業者	691	57.5	38.4	2.5	0.6	1.2

(2) 地球温暖化の影響が現れていると思う具体的な事象（複数回答）

（(1)で「強くそう思う」又は「どちらかといえば、そう思う」と回答した者のみ回答）

区 分	回答者数	ゲリラ豪 雨、洪水	気温・海水 温上昇、猛 暑日	台風、竜巻	作物、生物 分布の変化	四季の変化	氷河・氷山 の減少、海 面上昇	干ばつ・ 渇水	その他
		人	%	%	%	%	%	%	%
全 体	2,152	81.2	87.7	58.6	58.7	38.2	40.4	30.4	4.1
農 業 者	1,090	84.8	88.6	59.7	59.1	37.3	36.8	36.2	4.2
林 業 者	115	80.9	81.7	50.4	67.8	41.7	47.0	33.0	7.0
漁 業 者	287	64.5	89.9	49.1	52.3	27.2	34.1	11.8	6.6
流通加工業者	660	82.7	86.4	62.4	59.2	43.9	48.0	28.3	2.3

(3) おおむね最近1年間で農林水産分野に対する地球温暖化の影響に関する情報に接する機会が増えたと思うか

区 分	回答者数	強くそう 思う	どちらかと いえば、 そう思う	どちらかと いえば、そ う思わない	全くそう 思わない	わからない
		人	%	%	%	%
全 体	2,217	26.5	47.4	18.4	2.8	4.9
農 業 者	1,114	30.1	47.1	16.3	2.2	4.3
林 業 者	122	25.4	49.2	18.9	3.3	3.3
漁 業 者	292	28.1	48.6	16.1	3.8	3.4
流通加工業者	689	20.2	47.0	22.5	3.5	6.8

2 地球温暖化の農林水産分野への影響に関する認識について

農林水産分野への影響に関する情報で接する機会が増えたと思う情報（複数回答）
（1(3)で「強く思う」又は「どちらかといえば、そう思う」と回答した者のみ回答）

区 分	回答者数	農業への影	森林・林業	水産業への
		響に関する	への影響に	影響に関す
		情報	に関する情報	る情報
	人	%	%	%
全 体	1,633	80.2	21.9	58.7
農 業 者	859	94.3	21.8	47.6
林 業 者	90	84.4	57.8	46.7
漁 業 者	223	33.6	7.6	93.3
流通加工業者	461	75.7	22.1	64.9

3 地球温暖化対策に関する認識について

「緩和策」と「適応策」の認知度

区 分	回答者数	緩和策と適	緩和策につ	適応策につ	両方とも知
		応策の両方	いてのみ	いてのみ	
		があること	知っている	知っている	らなかった
	人	を知っている	%	%	%
全 体	2,216	33.1	18.7	5.9	42.2
農 業 者	1,112	39.9	13.4	7.7	38.9
林 業 者	122	40.2	23.8	8.2	27.9
漁 業 者	292	23.6	15.8	5.5	55.1
流通加工業者	690	24.9	27.7	2.8	44.6

4 適応策に関する認識について

農林水産分野における適応策について知っていること（複数回答）
（3で「緩和策と適応策の両方があることを知っている」又は「適応策についてのみ知っている」と回答した者のみ回答）

区 分	回答者数	将来的な地	高温耐性品	高温耐性品	その他
		球温暖化に	種や地球温	種や地球温	
		よる農林水	暖化影響を	暖化影響を	
		産分野への	軽減・抑制	軽減・抑制	
		影響評価	する適応技	する適応技	
			術の研究開	術の導入・	
			発	普及	
	人	%	%	%	%
全 体	864	49.3	71.1	63.5	2.7
農 業 者	530	46.6	74.7	70.2	2.8
林 業 者	59	55.9	74.6	47.5	5.1
漁 業 者	84	58.3	45.2	50.0	3.6
流通加工業者	191	50.8	71.2	56.0	1.0

5 地球温暖化によって生じる機会の活用について

(1) 地球温暖化によって生じる機会を活用する適応策の認知度

区分	回答者数	知っている		知らなかった
		人	%	
全体	2,210	54.8	45.2	
農業者	1,113	60.3	39.7	
林業者	120	71.7	28.3	
漁業者	289	43.3	56.7	
流通加工業者	688	47.8	52.2	

(2) 地球温暖化によって生じる機会を活用する適応策があることによる農林水産分野における地球温暖化対策の印象

区分	回答者数	地球温暖化によって生じる機会を活用することにより、農林水産分野で新たな所得が得られる機会ができるかもしれない	農林水産業はそもそも環境に適応しつつ営むべき産業だから、そういった対策があるのは当然である	地球温暖化によって生じる影響を軽減する適応策や温室効果ガスを削減する緩和策を引き続き重視すべき	その他
全体	2,174	16.2	29.3	52.2	2.3
農業者	1,100	15.8	32.7	49.4	2.1
林業者	119	17.6	24.4	53.8	4.2
漁業者	285	12.6	35.4	49.1	2.8
流通加工業者	670	18.2	22.1	57.8	1.9

6 地球温暖化影響に対する意識について

(1) 農業を営んでいくに当たって実施すべき適応策

区分	回答者数	現在の経営内容をできるだけ維持するための適応策	地球温暖化によって生じる機会を活用する適応策	わからない
	人	%	%	%
農業者	1,113	43.4	25.3	31.3

(2) 林業を営んでいくに当たって実施すべき適応策

区分	回答者数	現在の経営内容をできるだけ維持するための適応策	地球温暖化によって生じる機会を活用する適応策	わからない
	人	%	%	%
林業者	120	46.7	24.2	29.2

(3) 水産業を営んでいくに当たって実施すべき適応策

区分	回答者数	現在の経営内容をできるだけ維持するための適応策	地球温暖化によって生じる機会を活用する適応策	わからない
	人	%	%	%
漁業者	291	35.7	24.4	39.9

(4) 流通加工業を営んでいくに当たって実施すべき適応策

区分	回答者数	現在の経営内容をできるだけ維持するための適応策	地球温暖化によって生じる機会を活用する適応策	わからない
	人	%	%	%
流通加工業者	689	22.4	24.7	53.0

【調査事項】

<生産者モニター及び流通加工業者モニター 共通>

【地球温暖化影響に関する基本的な認識について】

問1 全員の方にお聞きします。

地球温暖化による影響は、すでに現れていると思いますか。あなたの考えに一番近いものを選択肢より1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 強くそう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 全くそう思わない
- 5 わからない

問2 問1で「1」又は「2」を選択した方にお聞きします。

具体的にどのような事象から地球温暖化の影響が現れていると思われましたか。該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 ゲリラ豪雨、洪水
- 2 気温・海水温上昇、猛暑日
- 3 台風、竜巻
- 4 作物、生物分布の変化
- 5 四季の変化
- 6 氷河・氷山の減少、海面上昇
- 7 干ばつ・渇水
- 8 その他〔具体的に回答用紙にご記入ください。〕

問3 全員の方にお聞きします。

概ね最近1年間で農林水産分野に対する地球温暖化の影響に関する情報に接する機会が増えたと思いますか。あなたの考えに一番近いものを選択肢より1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 強くそう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない

- 4 全くそう思わない
- 5 わからない

【地球温暖化の農林水産分野への影響に関する認識について】

問4 問3で「1」又は「2」を選択した方にお聞きします。

農林水産分野について、どのような分野に関する情報に接する機会が増えたと思いますか。該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 農業への影響に関する情報
- 2 森林・林業への影響に関する情報
- 3 水産業への影響に関する情報

問5 問3で「1」又は「2」を選択した方にお聞きします。

問4で選択した選択肢に関する情報の中で、覚えている情報を具体的に回答用紙に記入してください。

【地球温暖化対策に関する認識について】

地球温暖化対策には、地球温暖化を防止するための「緩和策」と地球温暖化の影響を軽減・抑制するための「適応策」があります。

「緩和策」には、

- ① 省エネ農業機械の導入等省エネ・省資源技術の導入や食品廃棄物等の発生の抑制など、農林水産業・食品産業における温室効果ガス排出の削減の取組
- ② 間伐や伐採後の再造林等の推進などの森林吸収源対策

等があります。

また、「適応策」には、

- ① 高温による品質低下等を改善するため高温環境に適応した品種の開発
- ② 水産分野における高水温耐性等を有する養殖品種の開発

等があります。農林水産省でもこれらの地球温暖化対策に取り組んでいます。

問6 全員の方にお聞きします。

地球温暖化対策には、「緩和策」と「適応策」があることを知っていますか。該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 緩和策と適応策の両方があることを知っている

- 2 緩和策についてのみ知っている
- 3 適応策についてのみ知っている
- 4 両方とも知らなかった

【適応策に関する認識について】

問7 問6で「1」又は「3」を選択した方にお聞きします。

農林水産分野における適応策について、知っていることはどれですか。該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 将来的な地球温暖化による農林水産分野への影響評価
- 2 高温耐性品種や地球温暖化影響を軽減・抑制する適応技術の研究開発
- 3 高温耐性品種や地球温暖化影響を軽減・抑制する適応技術の導入・普及
- 4 その他〔具体的に回答用紙にご記入ください。〕

【地球温暖化によって生じる機会の活用について】

問8 全員の方にお聞きします。

今後、地球温暖化が進行した場合に生じる悪影響を軽減する適応策を採る必要がありますが、一方で、次の例のように地球温暖化によって生じる機会を活用する事が可能になる可能性もあります。

(例)・寒さによる農林水産分野への被害が軽減される。

- ・これまで栽培することが困難だった作物が新たに栽培できるようになる。
- ・施設栽培に必要な暖房費が軽減される。
- ・これまであまり獲れなかった魚が多く獲れるようになる。

このように地球温暖化によって生じる機会を活用することも適応策の1つと考えられますが、このような適応策があることを知っていますか。該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 知っている
- 2 知らなかった

問9 全員の方にお聞きします。

地球温暖化によって生じる機会を活用する適応策があることにより農林水産分野

における地球温暖化対策について、どのような印象を持ちましたか。あなたの考えに一番近いものを選択肢より1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 地球温暖化によって生じる機会を活用することにより、農林水産分野で新たな所得が得られる機会ができるかもしれない
- 2 農林水産業はそもそも環境に適応しつつ営むべき産業だから、そういった対策があるのは当然である
- 3 地球温暖化によって生じる影響を軽減する適応策や温室効果ガスを削減する緩和策を引き続き重視すべき
- 4 その他〔具体的に回答用紙にご記入ください。〕

<農業者モニター用>

【農業における地球温暖化影響に対する意識について】

問10 全員の方にお聞きします。

地球温暖化による農業への影響について、農業を経営していくに当たって適応策が必要となった場合に、どのような適応策を実施すべきだと思いますか。該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 現在の経営内容をできるだけ維持するための適応策
- 2 地球温暖化によって生じる機会を活用する適応策
- 3 わからない

問11 問10で「1」又は「2」を選択した方にお聞きします。

その理由について、具体的に回答用紙に記入してください。

<林業者モニター用>

【林業における地球温暖化影響に対する意識について】

問10 全員の方にお聞きします。

地球温暖化による林業への影響について、林業を経営していくに当たって適応策が必要となった場合に、どのような適応策を実施すべきだと思いますか。該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 現在の経営内容をできるだけ維持するための適応策
- 2 地球温暖化によって生じる機会を活用する適応策

3 わからない

問11 問10で「1」又は「2」を選択した方にお聞きします。
その理由について、具体的に回答用紙に記入してください。

<漁業者モニター用>

【水産業における地球温暖化影響に対する意識について】

問10 全員の方にお聞きします。

地球温暖化による水産業への影響について、水産業を経営していくに当たって適応策が必要となった場合に、どのような適応策を実施すべきだと思いますか。該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 現在の経営内容をできるだけ維持するための適応策
- 2 地球温暖化によって生じる機会を活用する適応策
- 3 わからない

問11 問10で「1」又は「2」を選択した方にお聞きします。
その理由について、具体的に回答用紙に記入してください。

<流通加工業者モニター用>

【流通加工業における地球温暖化影響に対する意識について】

問10 全員の方にお聞きします。

地球温暖化による流通加工業への影響について、事業を経営していくに当たって適応策が必要となった場合に、どのような適応策を実施すべきだと思いますか。該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 現在の経営内容をできるだけ維持するための適応策
- 2 地球温暖化によって生じる機会を活用する適応策
- 3 わからない

問11 問10で「1」又は「2」を選択した方にお聞きします。
その理由について、具体的に回答用紙に記入してください。

【調査の概要】

1 調査の目的

近年、稲、果樹をはじめとする農産物や海苔等の水産物などにおいて、高温による生育障害や品質低下への対応に多くの努力が払われている。一方、観測記録を塗り替える高温や豪雨、大雪による大きな災害が頻発し、今後も地球温暖化とともに極端な気象現象の頻発が予測されるなど、我が国の農林水産業・農山漁村の生産や生活の基盤を揺るがしかねない状況にある。

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）^(注)の報告では気候システムの温暖化は疑う余地がないとされ、この避けられない地球温暖化に備えるには、技術開発や各種施策の転換などの適応策を計画的に進める必要がある。

このため、生産者等の地球温暖化や適応策に対する認識や意向などを把握することにより、今後の効果的かつ効率的な施策の立案や推進に資することを目的としたものである。

(注) 人為起源による気候変化、影響、適応及び緩和方策に関し、科学的、技術的、社会経済学的な見地から包括的な評価を行うことを目的として、1988年に世界気象機関（WMO）と国連環境計画（UNEP）により設立された政府間機関。

2 調査の対象

農林水産情報交流モニターのうち、生産者モニター及び流通加工業者モニターを対象とした。

3 調査の内容

地球温暖化が農林水産分野にもたらしていると考えられる影響に関する現状認識、今後の地球温暖化に対する懸念、地球温暖化適応策に関する意向等

4 調査時期

本調査は、平成26年11月上旬から中旬までの間に実施した。

5 調査方法

オンライン調査及び郵送調査の2種類とし、メールアドレスを登録している流通加工業者モニターに対してはオンライン調査を、その他の者に対しては郵送調査を実施した。

6 調査対象数及び回収率

区 分	対象者数 (人)	回答者数 (人)	回収率 (%)
生産者モニター	1,759	1,530	87.0
農業者モニター	1,269	1,115	87.9
林業者モニター	141	122	86.5
漁業者モニター	349	293	84.0
流通加工業者モニター	893	691	77.4

7 集計方法

各項目とも、単純集計により集計した。

8 利用上の注意

- (1) 本調査では、ある設問の回答対象者が当該設問について無回答であった場合、当該設問の集計対象からは除外するが、他の設問について（無回答でない）回答をした場合、集計の対象としている。
- (2) 図中の人数及び統計表の各回答者数は、各設問の有効回答者数である。
- (3) 各回答率は、各設問（各区分）の回答者数計を100.0とする割合である。
- (4) 表示単位未満を四捨五入したため、計と内訳の積み上げ値は必ずしも一致しない場合がある。
- (5) 統計表に使用した記号「－」は、該当する選択肢を選んだ回答者がいないことを表す。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果の分野別分類は「農林水産行政等に対する意識・意向調査」に分類しています。

お問合せ先

◎本調査結果について

農林水産省 大臣官房 環境政策課
地球環境対策室 地球温暖化班

電 話：(代表) 03-3502-8111 内線：3297
(直通) 03-6744-2017

F A X： 03-3591-6640

◎農林水産情報交流ネットワーク事業について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計企画班 モニター係

電 話：(代表) 03-3502-8111 内線：3580
(直通) 03-3502-5631

F A X： 03-3501-9644

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 広報普及班

電 話：(代表) 03-3502-8111 内線：3589
(直通) 03-6744-2037

F A X： 03-3501-9644



平成27年2月1日現在で、2015年農林業センサスを実施します。

○農林業経営体調査（平成26年12月中旬～平成27年2月末）

○農山村地域調査（平成27年4～6月末）

円滑な調査の実施に向けて、ご協力をお願いします。

農林業センサスホームページURL：<http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc>